

第2次実施計画(案)に対する意見の概要と市の考え方

■各論 方向性1 豊かな緑と水辺を活かした、自然とともに生きるまちへ

No.	(案)該当箇所	意見の概要	市の考え方	修正
1	1-3-1 低炭素社会の実現に向けた取組みの推進	「防災拠点への再生可能エネルギー導入の推進」及び「太陽光発電設備等設置助成の推進」の計画事業に賛同する。	ご賛同ありがとうございます。今後も、低炭素社会の実現に向けた取組みを着実に推進して参ります。	-
2	1-3-1 低炭素社会の実現に向けた取組みの推進	取組項目との記載の統一を図るため、また防災拠点においても、再生可能エネルギー等設備の設置を推進するため、「防災拠点への再生可能エネルギー等導入の推進」の通り追記することを提案する。	事業説明欄は主な取組みを示しており、「再生可能エネルギー」に環境負荷の小さい機器(コージェネレーションシステム等)についても含んでおります。	-
3	1-3-1 低炭素社会の実現に向けた取組みの推進	「太陽光発電設備等設置助成の推進」においては、事業概要を「再生可能エネルギー等の導入を支援し、環境にやさしいまちづくりを推進するため、住宅用太陽光発電設備や太陽熱利用給湯システムの設置に助成します」と追記し、補助金の支給対象を事業者にまで拡大させ、事業者による設置後申請を認めることで補助金の利用者を増やし、低炭素社会の実現に向けた取組を推進してほしい。	追記については、事業説明欄は主な取組みを示しており、「再生可能エネルギー」に環境負荷の小さい機器(コージェネレーションシステム等)についても含んでおります。 補助金の支給対象の拡大については、取組みを推進するため、27年度から事業者を対象に太陽熱利用給湯システムの助成事業を実施します。なお、太陽光発電設備については、売電が可能であり事業者の収益につながることから、助成制度になじまないものと考えます。 設置後申請については、市の助成制度は原則として交付申請書の提出時期を補助事業着手前としておりますので、原案どおりとさせていただきます。	-

■各論 方向性2 支えあいがやすらぎを生む、あたたかなまちへ

No.	(案)該当箇所	意見の概要	市の考え方	修正
4	2-2-1 子育て支援の充実	公立保育所は行政機関として、地域全体の保育を負っているため、公立公設で建て替えてほしい。財政難を理由とした民営での建て替えには反対する。	公立保育所改築に当たっては、個別の保育所ごとの現在の就学前児童・保育所児童数・待機児童数、今後の保育需要、保育事業者確保の可能性、立地条件・地域特性、費用対効果等を総合的に勘案し、整備手法を検討します。 なお、保育を必要とする子どもの保育の実施は、公立・私立を問わず児童福祉法に基づく市の責務となっております。	-
5	2-2-1 子育て支援の充実	公立保育所は、地域の行政機関として信頼を得ているため、質の高い保育を保証できて、保育士の身分を継続して、維持向上できるのが長所だ。そのため、市民が安心して子育てや仕事ができるためには、公立での建替えを行ってほしい。	公立保育所改築に当たっては、個別の保育所ごとの現在の就学前児童・保育所児童数・待機児童数、今後の保育需要、保育事業者確保の可能性、立地条件・地域特性、費用対効果等を総合的に勘案し、整備手法を検討します。 なお、民間保育園に対する運営費には、保育士が長期間継続して働けるよう、勤続年数に応じた加算の仕組みが設けられております。	-
6	2-5 障害のある人が自立して暮らせる共生社会を創る	市には聴覚障害者のための拠点となる場がないため、なかなか市の聴覚障害福祉の発展が見込めず、聴覚障害者が市民の一人として人間らしく安心して楽しく、ゆとりある生活が送れない。 ぜひ拠点となる場として聴覚障害者の地域活動センターを市の聴覚障害者協会と話し合っ取り組んで早期に設けてほしい。 【実施事業(案)】 ・手話通訳者および要約筆記者、盲ろう者ガイドヘルパーの養成講座事業 ・手話通訳者・要約筆記者・盲ろう者派遣事業 ・市民啓蒙普及事業としての手話講習会・講座事業 ・聴覚障害者(児)の教育、生活などに関わる相談事業 ・聴覚障害者のための情報収集・作成および提供 ・聴覚障害者のための手話講習会、教養講座事業 ・特定者(医療関連、警察、消防署など)対象の手話講習会・講座事業 ・障害者のためのIT訓練の支援事業 ・障害者のための芸術・スポーツ・文化活動の支援事業 ・障害者のための日常生活訓練・支援事業 ・障害者のための関係団体支援事業(デフワークホームも含む) ・高齢聴覚障害者への支援サービス ・障害者のための日常生活など全般にわたる支援事業 ・福祉避難所としての役割	ご意見にある実施事業(案)については、本市において委託等により実施済みの事業が多く、今後はこれらの事業の拡充に努めて参ります。	-

■各論 方向性3 豊かな心が育ち、新たな価値が生まれるまちへ

No.	(案)該当箇所	意見の概要	市の考え方	修正
7	3-1-1 学校教育の 振興	授業についていけない子ども・不登校・いじめ等を減らすために、1クラスの児童数・生徒数を20人前後にし、教師を増やしてほしい。	国の基準では、1学級の児童生徒数は、小学校1年生のみが35人で、その他は40人となっていますが、現在、本市では、県の基準に基づいており、小学校1, 2年生と中学校1年生は35人で、その他の学年は38人となっています。 今後、本市独自に少人数学級を推進できるよう検討を進めます。	-
8	3-1-1 学校教育の 振興	学習や勉強が遅れている子どものために、もと教師だった人や大学生などを学校で採用し、学習を指導してもらいたい。	学力向上サポーターや、学校が必要とする人材をNPOちば教育夢工房に委託し学校支援員として配置する等、退職教員や大学生、市民等を活用して学習支援を行っています。	-
9	3-1-1 学校教育の 振興	不登校やいじめ対策のために、スクールカウンセラーを1校につき5~6人配置してほしい。	本市では、スクールカウンセラーを全中学校に配置しており、小学校には、巡回方式のスクールカウンセラーと学区中学校のスクールカウンセラーが対応する体制を整えて個別の相談に応じ、一定の成果をあげています。今後も、教育相談体制の充実に向けて、効果的な配置の在り方について研究して参ります。	-
10	3-1-1 学校教育の 振興	不登校の子どもに対しては、学校に戻すことを強制せず、教師を子どもの家に派遣して学習を指導したり、相談できるシステムを整備してほしい。	現在、不登校のお子様の家に教師を派遣して学習を指導するシステムはありませんが、教育センターでは、インターネットを活用し、在宅しながら学習できる、「IT等を活用した学習」を提供しています。また、家庭訪問相談員を派遣したり、家庭から電話による相談を受け付けしたりするシステムは整備されています。	-
11	3-1-1 学校教育の 振興	不登校の子どもはフリースクールに通っても、普通の通学であると認め、卒業を認めてほしい。	一定の要件を満たすフリースクールに通う児童生徒については、在籍校において出席扱いにするといった弾力的な運用を図っています。	-
12	3-1-1 学校教育の 振興	学校教育においては「女らしく・男らしく」という男女差別教育は廃止して「女性と男性は対等な人間であり男女ともに人間らしく・自分らしく・個性を發揮して生きなければならない」という男女平等教育を徹底してほしい。	学校における男女平等を推進する教育については、道徳、特別活動やキャリア教育等で扱い、一人一人の個性を尊重する指導をしています。日常的に、少人数指導などにより男女関係なく個々の能力を伸ばす教育を実践しています。	-
13	3-1-1 学校教育の 振興	男女平等教育と人権教育を重視した教育を実践してほしい。	本市では、「人間尊重の教育」を教育施策の基調として掲げ、学校教育全体を通して、人格形成の基盤となるよう相手を思いやり、心豊かな人間性を育む教育を実践しています。男女平等などの人権教育の課題については、日常の生徒指導や学級経営等を中心とした指導に力を入れています。	-
14	3-1-1 学校教育の 振興	学校図書館活性化の推進について、全校が学校図書館図書標準をクリアする程度まで「蔵書数」を増やしてほしい。	図書購入予算について、各学校の蔵書率を踏まえた傾斜配付をし、蔵書の拡大を進めています。27年度は、特に蔵書率の低い学校に重点的に図書購入予算を配付し、さらなる蔵書率の拡大に努めて参ります。	-
15	3-1-1 学校教育の 振興	学校図書館活性化の推進について、学校司書(現学校図書館指導員)の1人1校専任の全校配置を進めてほしい。	学校の統廃合や社会情勢を考慮しながら、120名の学校図書館指導員の効果的な配置について検討を進めます。	-
16	3-1-1 学校教育の 振興	学校図書館活性化の推進について、学校図書資料のデータベース化を行い、市図書館とのネットワークとつなげてほしい。	他市の状況についての情報収集に努め、成果と課題を整理するとともに、社会情勢を考慮し、関係機関が連携を図りながら検討します。	-
17	3-1-1 学校教育の 振興	現状に対してどのように学校図書館蔵書数を拡大していくか不明であるため、目標を示してほしい。また、学校図書館の活性化を推進するためにも、ぜひ「学校図書館指導員」を全小中学校に一人一校、掛け持ちすることなく配置してほしい。事業説明欄の表記について、「学校図書室」は「学校図書館」ではないか。	学校図書館の蔵書については、各学校ごとに、実態に応じた蔵書率の目標を立てて整備に努めるよう指導して参ります。また、学校の統廃合や社会情勢を考慮しながら、120名の学校図書館指導員の効果的な配置について検討を進めます。 また、事業説明欄につきましては、ご意見にもとづいて「学校図書館」に表記を見直しさせていただきます。	○
18	3-2-1 生涯学習の 推進	第5次生涯学習推進計画の策定について、図書館・公民館の充実・整備を盛り込み、公民館活性化を推進してほしい。	図書館や公民館の充実・整備につきましては、現在ある施設の有効活用を図り、市民の皆さまに安全・快適にご利用いただけるよう、計画を策定して参ります。	-

19	3-2-1 生涯学習の 推進	第5次生涯学習推進計画の策定には、公民館の市直営についても盛り込んでほしい。	公民館の管理運営手法につきましては、現在取り組んでいる公民館のあり方検討の中で、よりよい手法について協議して参ります。	-
20	3-2-1 生涯学習の 推進	第5次生涯学習推進計画の策定の際には、市民意見を尊重してほしい。	第5次生涯学習推進計画の策定にあたっては、市民向けアンケートやパブリックコメントの実施をはじめ、附属機関からの意見聴取など、十分に市民意見を尊重しながら進めて参ります。	-
21	3-2-1 生涯学習の 推進	花見川図書館分館の整備について、更なる拡張について区役所と協議してほしい。また、市直営での運営とし、経験と専門的知識を有する職員を配置してほしい。地域住民に郷土資料等の提供を呼びかけ、全国的にも先進的なモデルとしての運営してほしい。	ご提案いただいた内容については、今後の花見川図書館分館の整備に当たっての参考にさせていただきます。	-
22	3-2-1 生涯学習の 推進	花見川図書館分館の整備について いよいよ実施設計に入り、図書館が身近なものになる。これからの千葉市を担う若者へ子どもへ、図書館を渡せる日が見えてきたことは先を行く大人としてほっとしている。 また、開館後も地域で図書館を支え共に発展させていけるように考えることは楽しい。 さて、現在「千葉市図書館協議会」委員長、「日本図書館協会施設委員会」委員、そして立川市図書館で豊富な図書館サービスを体験してこられた方等が身近にいる。整備の初めから、是非加わっていただきたい。	花見川図書館分館の整備にあたっては、市民の皆様により良い読書環境を提供できるよう、作業に取り組んで参ります。	-
23	3-2-1 生涯学習の 推進	花見川図書館分館の整備について 整備(設計及び工事)にあたっては、地域住民の意見・要望を聞きながら、設計者は図書館の建築に実績のある人を選んでほしい。 (児童コーナーはすべての子どもが利用できるように、・床は絨毯ではなく、コルクシートのような素材で、清潔な環境が手間の少ない手当てで保てる工夫。・親と子の視線と動線に配慮した丁寧な設計。・机・椅子が無くとも親子が本と交わり、寛げる空間の確保。等)	ご提案いただいた内容については、今後の花見川図書館分館の整備に当たっての参考にさせていただきます。	-
24	3-2-1 生涯学習の 推進	花見川図書館分館の整備について 分館の職員を早い時期に決め、市民意見が設計に反映できるようにしてほしい。	ご提案いただいた内容については、今後の花見川図書館分館の整備に当たっての参考にさせていただきます。	-
25	3-2-1 生涯学習の 推進	花見川図書館分館の整備について 「現在図書館として予定されている範囲(スペース)」を超えて、できるだけ区役所内の利用できる範囲(スペース)を広くしてほしい。 (子どもと本の出会いの場としてのおはなし室、図書館を利用する住民の活動室・談話室等に使用できるスペースの確保。)	ご提案いただいた内容については、今後の花見川図書館分館の整備に当たっての参考にさせていただきます。	-
26	3-2-1 生涯学習の 推進	花見川図書館分館の整備では、旧家が多い幕張・検見川・畑地区の埋没している資料を積極的に収集し、歴史的文化的資料として充実させてほしい。	ご提案いただいた内容については、今後の花見川図書館分館の整備に当たっての参考にさせていただきます。	-
27	3-2-1 生涯学習の 推進	花見川図書館分館の整備について オープン後も地域住民との懇談を定期的に持ち、住民と地域に即した図書館運営を行ってほしい。 (おはなし会サークル、わらべうたの会、読み聞かせグループ、地元学・歴史学のサークルなど図書館を支える会との連携した図書館運営。)	ご提案いただいた内容については、今後の花見川図書館分館の整備に当たっての参考にさせていただきます。	-
28	3-2-1 生涯学習の 推進	花見川図書館分館の整備について 近隣に幼稚園、学校が多い地区なので、子ども達が使いやすい図書館になるように整備、計画をしてほしい。実施設計の際には、地域市民の意見を聴く機会を設け、反映させてほしい。	ご提案いただいた内容については、今後の花見川図書館分館の整備に当たっての参考にさせていただきます。	-
29	3-2-1 生涯学習の 推進	図書館サービスポイントの設置では、すでに三省堂書店そごう千葉店に返却ボックスが設置されたが、今後は通勤・通学経路を考慮し、JR千葉駅構内または中央区役所千葉駅連絡所等に図書館サービスポイントを増やしてほしい。	図書館サービスポイントの設置については、設置した図書返却ポストの利用動向を注視し、その他の施設への展開について、検討して参ります。	-
30	3-2-1 生涯学習の 推進	図書館サービスポイントの設置 すでに3月7日より運用が開始された。千葉駅周辺への設置は以前からあった市民の要望にのっての設置なので前倒しの運用は嬉しい。しかし、設置場所が書店ということでは今後どのようにサービスが継続されていくのかが気になるため、明示してほしい。 さらに、市民が利用しやすい場所(JR千葉駅構内、中央区役所千葉駅連絡所等)へも設置してほしい。	図書返却ポストを書店に設置した理由についてですが、本に触れる機会を増やし、図書館と書店がコラボしたおはなし会を実施するなどの連携により、市民の読書環境の向上につなげることを目指すものです。 今後のサービスポイントの設置については、三省堂に設置した図書返却ポストの利用動向を注視し、その他の施設への展開について、検討してまいります。	-

31	3-2-1 生涯学習の 推進	図書館の開館日・開館時間の拡大では、位置や地域の特性等を勘案し図書館を選定し、費用対効果などを充分検証した後に行ってほしい。 豊富な資料・情報の収集こそ利用者増につながるものである。	開館日・開館時間の拡大については、平成26年度から実施した地区図書館での祝日開館の実施状況などを踏まえ、引き続き検討を進めて参ります。	-
32	3-2-1 生涯学習の 推進	図書館の開館・開館時間の拡大について ・指定者管理制度はなぜ導入できないのか ・公民館同様なぜ無休にできないのか	指定管理者制度の導入については、本計画で検討すべき内容ではありませんが、今後の施策の参考にさせていただきます。 開館日の拡大については、引き続き検討を進めて参ります。	-
33	3-2-1 生涯学習の 推進	子ども読書活動推進計画(第3次)の策定の際は市民意見を尊重してほしい。	ご提案いただいた内容については、子ども読書活動推進計画(第3次)の策定に当たっての参考にさせていただきます。	-
34	3-2-1 生涯学習の 推進	子ども読書活動推進計画(第3次)の策定の際には、中央図書館管理課だけでなく、学校教育部、こども未来局等、子どもに関する全ての部署と連携して策定してほしい。	子ども読書活動推進計画(第3次)の策定に当たっては、ご提案いただきましたとおり、関係部局との連携・調整を十分に行う予定です。	-
35	3-2-1 生涯学習の 推進	ファミリー読書の日の制定については、図書館、学校、公民館、地域にある文庫などとの連携を図り実質的で意義のある日としてほしい。	子どもと親の読書活動の推進を図るため、ファミリー読書の日(仮称)を制定し、定期的に読書活動に対する興味を喚起するとともに、本に親しむ習慣をつける契機とすることを目指しています。制定にあたっては、気運の醸成や定着が図れるよう様々な角度から手法を今後検討するとともに効果的な広報に努めていきます。	-
36	3-2-1 生涯学習の 推進	読書ノートの配布については、学校と連携し更なる活用を目指してほしい。	まほうの読書ノートの配布や活用については、児童・保護者などの意見も参考に、学校等の関係者と協議をしながら、より良い活用方法を工夫して参ります。	-
37	3-2-1 生涯学習の 推進	読書ノートの配布の事業については、配布時に、学校としっかり連携し、子ども達にノートの説明をきちんと行ってほしい。また、使用している子どもや保護者の声を聞いて、使いやすいように記載欄を広くするなど、改善をおこなってほしい。	ご提案いただいたとおり、今後は、学校との連携を深めるほか、平成26年度に実施したアンケートの実施結果等を反映させるなど、読書ノート配布に係る事業改善に努めます。	-
38	3-2-1 生涯学習の 推進	親子ふれあい本の提供について、絵本等を介して親子のふれあいを深めることは有意義である。	子どもの身近に本が存在し、子どもが本を読みたいと感じた時に本を読める環境を提供するとともに、子どもと親のコミュニケーションツールとして本を活用してもらうことで、子どもと親の読書活動の推進が図れることを目指し、ふれあいや絆を醸成するためにも、親子ふれあい本の提供を実施します。	-
39	3-2-1 生涯学習の 推進	図書館システムの再構築の際には、子どもたちの読書活動を推進するためのツールとして、いま全国各地で推進されつつある「読書通帳」の導入を検討してほしい。	ご提案いただいた内容については、図書館システム再構築に当たっての参考にさせていただきます。	-
40	3-2-1 生涯学習の 推進	図書館システムの再構築について、個人情報保護の徹底を図ることを最優先したシステムにしてほしい。また、図書館システム(コンピュータシステム)の維持・管理費が非常に高額となっており契約金額の見直しをすべきだ。	個人情報保護に係る情報セキュリティ対策の徹底は、利用者の思想・信条等に密接した情報を取り扱う図書館システムにおいて最も基本的な要件であると認識しており、再構築に当たってもその方針に変わりはありません。また、図書館システムの再構築に係る業者選定に当たっては、適正な価格での契約締結を図ります。	-
41	3-2-1 生涯学習の 推進	南部青少年センター・みやこ図書館白幡分館の改修だけでなく、老朽化が考えられる他の施設に対しても、調査・改修を項目に入れてほしい。	本計画期間内に必要な改修等については、計画事業の対象にしております。また、全ての市の施設は保全計画を立てており、計画的な取組みを行っております。	-
42	3-3-1 文化・芸術 の振興	芸術・音楽・演劇などの芸術に親しみ「芸術の都・千葉市」を目指すために市内で活動している画家や音楽家や演劇家を活用し、市民に絵や音楽や演劇を指導するシステムを作り、市民が芸術を身近に親しめる環境をつくってほしい。	登録した千葉市ゆかりのアーティストに活躍の場を提供する「アーティストバンク」の取組みを推進することで、市民の皆さまが文化芸術に親しみやすい環境を整えて参ります。	-
43	3-3-1 文化・芸術 の振興	絵を描きたいけど家が狭くて描く場がないと思っている市民、演奏したいが場所がないという市民の為に空きビル・空き部屋・使用していない家などを活用し、アトリエや縁覚の演奏や演劇ができる場として、無料で部屋を使えるように整備し、市民が芸術を楽しめる施設がほしい。	市民の皆さまが芸術文化活動を行える場所を増やすことは課題として認識しております。文化施設の利用向上に努めるとともに、商業施設などを活用したアーティストの演奏発表などの取組みを進めてまいります。	-

44	3-5-1 市民参加・協働の推進	市民の能力・個性を活かし、人間らしい街を作るために、千葉市の各審議会には市民公募の人を半分ぐらい参画させなければならない。審議会のテーマごとに、その問題に精通した市民を公募で選び、審議会メンバーの半数を公募市民にすることが大切。また審議会メンバーの半数は女性にすることが重要。 市民の能力・個性を活用し、知的レベルの高い千葉市・人間らしく生きられる千葉市・芸術のみやこ千葉市・教育と福祉が進んだ千葉市・男女平等が進んだ千葉市・女性が輝いて仕事ができる千葉市・高齢者がいきいきと暮らせる千葉市・若者が仕事を心得て結婚出産がしやすい千葉市・障害者も人間らしくいきいきと生きられる千葉市を構築することが重要だ。	審議会委員の公募に関しては、千葉市市民参加及び協働に関する条例に基づき執り行っております。 本市の政策決定過程に男女の意見が十分に反映されるよう、附属機関における女性委員の割合について目標値を設定しており、庁内の関係課へは積極的な登用に努めるよう働きかけなどを行っています。 本市では現在、次期「文化芸術振興計画」の策定に向けて内容を検討しており、今後も公募委員を含めた文化芸術振興会議委員と協議をしながらより良い計画の策定を目指して参ります。 また、「千葉市男女共同参画ハーモニー条例」に基づき、「ちば男女共同参画基本計画新ハーモニープラン（後期計画）」を策定し、男女が互いに人権を尊重し合い、個性と能力を十分に発揮できる男女共同参画社会の形成を目指して、男女共同参画についての施策に取り組んでおります。	-
45	3-5-1 市民参加・協働の推進	「市民参加」でなく「市民参画」の方が良い。	施策の名称については、新基本計画（平成23年6月市議会決議）に基づくものであり、実施計画として変更することができないため、原文のままとします。	-
46	3-5-2 男女共同参画の推進	学校教育の現場では徹底した「男女平等教育」を実践する必要があり、企業内でも「男女平等」の意識を啓発し、「男女平等の労働システム」を構築する必要がある。そのため女性学を専門とする大学の先生を学校や企業に派遣し、「男女平等」に関する授業を実践することで生徒・児童や経営者・社員に男女平等の考え方を学んでもらう。	市の男女共同参画センターでは、学校や企業等を対象に男女共同参画についての出前講座を実施しております。今後も学校や企業における男女共同参画の推進のための事業の充実や周知に努めてまいります。	-
47	3-5-2 男女共同参画の推進	女性が出産後も働き続けるためには、保育所の増設とイクメンを増やすことが重要。男女共同参画センターでは「イクメン講座」や「男性の料理教室」や「男女平等社会の実現」などの講座を年に数十回開催して、イクメンを増やすとともに男女平等の考え方を啓発することが重要。女性が出産後もスムーズに定年まで働き続けるためには、イクメンと保育所を増やし、男女ともに男女平等の意識・考え方をもちて生きることが重要。企業では、男性が育児休暇を取得しやすい制度を整備することが重要である。	市の男女共同参画センターでは、「イクメン講座」や「男性のための料理講座」、「男女共同入門講座」など男女共同参画社会推進に向けての学習の機会を提供し、各種の講座を実施しております。 また本実施計画でも、保育所等の整備や、男性の子育て支援についても計画しております。	-

■各論 方向性4 ひと・モノ・情報がつながる、生活基盤の充実した安全で快適なまちへ

No.	(案)該当箇所	意見の概要	市の考え方	修正
48	4-1-2 防災体制の充実	災害発生後、避難所での生活には苦勞が多い。避難所ではリーダーは男性だけでなく、女性リーダーも選び男女が対等にリーダーとして仕事を担うことが重要。女性の知恵や経験を活かして避難所の運営をしなければならない。男性が命令して女性はおにぎりを作るだけという運営をしていると不満が出て被災者はスムーズに生活できないので、女性がリーダーシップを発揮しなければならない。そのためには、平時において女性のリーダーを育成する必要がある。常日頃、男女共同参画センターや公民館などで「女性リーダー育成講座」を年に数回開催し、リーダーとして能力を発揮できる女性を多く育成することが重要、女性の能力を活用し、災害時にも避難所でリーダーとして活躍することが重要。	災害対応への男女共同参画の重要性は認識しており、平成26年度から実施している地域防災リーダーの育成を目的とした防災ライセンス講座では、男女共同参画の視点を取り入れたカリキュラムや、女性が参加しやすい平日開催などを取り入れ、女性のさらなる参加を図っています。 今後とも、女性リーダーも含めた地域防災リーダーの育成に努めていきます。	-
49	4-2-2 計画的な土地利用の推進	都市計画マスタープランの見直しにおいては、「都市の低炭素化の推進に関する基本的な方針」に沿って、エコまち法ハンドブック等を活用し、環境に配慮したまちづくりを実現させてほしい。	都市計画マスタープランの見直しにおいては、持続可能な都市を目指す観点から、都市づくりにおける地球温暖化などの環境問題への取組みも重要と考えており、いただいたご意見も参考に検討を進めてまいります。	-

50	4-2-5 生活基盤の 充実	<p>新庁舎の整備については、市が財政危機の状況で建設の結論は時期早尚だ。また、住民説明が不足している。</p>	<p>平成23年3月11日に発生した東日本大震災において、市役所本庁舎では、ロッカーや書類棚の転倒、床・壁・天井の亀裂、窓ガラスが破損するなど、職員が一時避難を余儀なくされたために業務が一時中断し、改めて本庁舎のあり方が問われたことから、本市では、平成23年度の市内部での検討、24年度の専門家による調査の実施及び25年度の第三者による調査結果の検証など、本庁舎整備の検討を進めてきました。</p> <p>その結果、現在の本庁舎は、Is値が0.5と耐震性能が低く、本庁機能が本庁舎、中央コミュニティセンター及びポートサイドタワーの3か所に分散し、年間約6億円もの賃借料負担が生じているほか、築45年を経過して今後の維持管理に多額の費用が見込まれるなど、「防災面」、「分散化・狭隘化」、「老朽化」といった課題を抱えており、非常時はもちろん、通常時においても必要な機能が不足していることが判明しました。</p> <p>そこで、現庁舎の耐震改修や新庁舎の建設などの複数の検討ケースを設定して比較したところ、現敷地の有効活用や今後の建て替え等、将来を見据えた資産経営を考えると、現庁舎敷地に新築又は増築により集約することが、定性的・定量的評価において有利となりました。中でも、新庁舎を建設することが、防災面を含めた市役所の機能を最も高められ、かつ長い目で見て一番コストがかからないとの結論に達したことから、新庁舎建設を進めることとしました。</p> <p>これを受けて、今年度は、11月に基本構想を策定し、3月に基本計画(案)の作成したところであり、4月15日から予定しているパブリックコメント手続を経て基本計画を策定したいと考えています。</p> <p>今後、事業を進めるにあたっては、本市の財政状況や建設物価等の社会経済情勢の変化に留意しながら検討していきます。</p> <p>また、新庁舎整備は、市民の皆様のご理解をいただきながら進めていく必要があることから、市長対話会や出前講座、シンポジウム、基本構想のパブリックコメントなどを実施してきました。今後も、様々な機会を通じて市民の皆様へ情報を提供し、ご意見を伺いながら検討していきます。</p>
----	----------------------	----------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

■各論 方向性5 ひとが集い働く、魅力と活力にあふれるまちへ

No. (案)該当箇所	意見の概要	市の考え方	修正
51 5-1-1 3都心などの魅力向上	<p>昨年までに駅前通りの千葉港・黒砂台線、ウエストリオ駅前広場が完成し、立派な西口になり、良かった。 B工区の計画にも、とても期待している。</p> <p>さらに、JR千葉支社跡地の再開発の検討してほしい。老朽化している駅ビル別館や第二別館、駅ビル駐車場とホテルサンシティ、バーディーホテルに7番地も含めた地区を、1ブロックとして計画してほしい。</p> <p>核テナントには、有楽町など駅前出店も図っているJR系のルミネを候補に、ぜひ打診をお願いする。</p>	<p>西口(B工区)に関しては、現在、事業協力者からの提案内容を実現するため、関係機関協議を進めているところです。</p> <p>JR千葉支社跡地の再開発については、土地所有者であるJR東日本の意向把握に努めるとともに、再開発を行うとなった場合には、開発時期や規模、開発内容などについての情報提供を求めるとともに、適時、協議・調整をしていきたいと考えております。</p>	-
52 5-1-1 3都心などの魅力向上	<p>幕張新都心における住宅設備促進においては、千葉市の魅力アップにもつながるように、環境に配慮したまちづくりを目指してほしい。</p>	<p>幕張ベイタウンについては、従来より千葉県企業庁が、まちづくりの方針として誘導してきております。</p> <p>若葉住宅地区については、当該事業予定者等の募集にあたり、募集要項の策定段階から千葉県企業庁と連携して取り組んでいるところであり、その中で、「環境に配慮した街づくりの手法」についても提案されるよう記載されております。</p> <p>今後、選定された事業予定者等の事業計画の実現に向けて、取組みを進めて参ります。</p>	-
53 5-1-1 3都心などの魅力向上	<p>長らく千葉駅東口地区に、新しいビルが建つ事が無かったので、再開発計画にとっても期待している。</p> <p>核テナントには、グランドモールを抜けた先にある三越と同じ系列のアルタを候補の一つにしてほしい。新潟など地方への出店も図っている様なので、ぜひ打診をお願いする。</p> <p>そして、富士見町商店街からパルコ、中央公園、移設・拡張計画中の通町公園・千葉神社、栄町商店街、栄町東通り又は中通り、みゆき通りを経て千葉駅に戻る、といった回遊ルートの確立を、ぜひお願いする。</p> <p>また、これに関連して、千葉駅からモノレール栄町駅、栄町公園を経て千葉神社を結ぶみゆき通り―栄町東通りを、千葉神社の参道として整備する検討も、併せてお願いする。</p>	<p>千葉駅東口地区の再開発については、中心市街地への玄関口の整備であり、本市の顔となる再開発であることから、駅前の更なる賑わい創出のため、市としても再開発を促進していきたいと考えております。なお、テナント誘致については、現在、地区内の権利者で組織される準備組合において検討しているところです。</p> <p>回遊ルートや参道の整備などについては、現在、策定作業を進めている「千葉駅周辺の活性化グランドデザイン」において、千葉駅周辺地区の10年、20年先を見据えた姿を描き、誘導すべき将来像を示すこととしており、その中で、検討を進めているところです。なお、グランドデザインについては、平成27年度に市民意見募集を実施する予定でおります。</p>	-
54 5-2-1 産業の振興	<p>企業立地の促進に関しては、市の中小企業資金融資の「環境経営応援基金」を推奨し、企業にも環境に配慮した設備の導入を進めるべき。</p>	<p>企業立地の促進にあたっては、「環境経営応援資金」も含め、各企業のニーズにあわせて様々な支援施策を提案しているところです。</p> <p>今後も、「環境経営応援資金」を周知し、環境に配慮した設備を導入する企業を支援してまいります。</p>	-
55 5-2-5 労働者の支援と雇用の創出	<p>少子社会を改善するためにも、若い世代が正社員として仕事をする事ができて、結婚・出産がスムーズにできる社会をつくる必要がある。</p> <p>また、起業したい人を支援するために資金面をサポートしたり、「起業のための講座」を多く開催するなど、「起業家養成」に力を入れなければならない。</p> <p>さらに不登校だった人や引きこもりの人のための就職支援にも力を入れなければならない。一人一人の状況に合わせて、仕事をするための資格取得講座やコミュニケーション講座や就職のための準備講座や悩みを相談する相談室などを設け、不登校だった人や引きこもりの人たちがスムーズに仕事をするための支援を従事させなければならない。不登校だった人や引きこもりだった人たちを放っておいてはいけない。学校や社会に問題があったからそういう状態になった人も多いのだから、千葉市としては責任を取るためにも支援を続けなければならない。</p>	<p>価値観や生活様式の多様化により、労働者が様々な就業形態を選択できる社会となっている一方、若い世代を中心に経済的な自立が困難となり将来設計ができないといった課題も見受けられます。</p> <p>若い世代の雇用の場を確保するため、インターンシップ等による早期の職業観の醸成支援や就職を支援するための職業紹介等を産学官連携により推進してまいります。</p> <p>また、「起業家養成」につきましては、計画事業を推進し、支援の強化を図ってまいります。</p> <p>ニート・ひきこもり等、社会生活を円滑に営む上で困難を有する子ども・若者の相談窓口「子ども・若者総合相談センターLink」では、相談者のニーズに応じた支援を行っており、就労を希望する相談者には、ハローワーク等就労支援機関等と連携して対応しております。今後も「子ども・若者総合相談センターLink」の充実を図ってまいります。</p>	-

意見提出者数	11 名
意見数	55 件